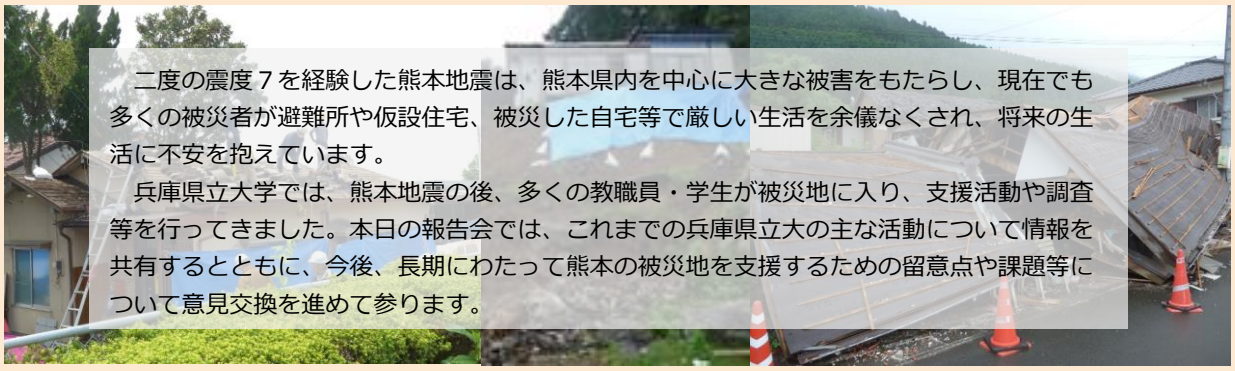
兵庫県立大学主催　熊本地震報告会

熊本地震の被災実態と兵庫県立大による支援の取組

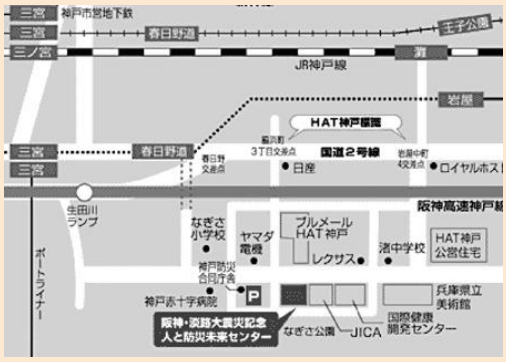


二度の震度７を経験した熊本地震は、熊本県内を中心に大きな被害をもたらし、現在でも多くの被災者が避難所や仮設住宅、被災した自宅等で厳しい生活を余儀なくされ、将来の生活に不安を抱えています。

兵庫県立大学では、熊本地震の後、多くの教職員・学生が被災地に入り、支援活動や調査等を行ってきました。本日の報告会では、これまでの兵庫県立大の主な活動について情報を共有するとともに、今後、長期にわたって熊本の被災地を支援するための留意点や課題等について意見交換を進めて参ります。

■日時：2016 年 7 月 19 日（火）
17 時 30 分～20 時 00 分
（参加無料・事前申込不要）

■場所：兵庫県立大学　防災教育研究センター
大教室
（神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2
人と防災未来センター東館 4 階内）



■プログラム

(1)開会挨拶（兵庫県立大学副学長　片田範子）

(2)講演：過去の災害教訓と熊本地震に求められる対応と支援（25 分）
兵庫県立大学　防災教育研究センター長　室崎益輝

(3)兵庫県立大の活動報告　（70 分）

報告１：西原村の地震被害と生活再建の課題
兵庫県立大学　防災教育研究センター　専任講師　宮本　匠

報告２：西原村における健康支援活動
兵庫県立大学　地域ケア開発研究所　教授　山本あい子
〃　教授　増野園恵
兵庫県立大学　看護学研究科　共同災害看護学専攻
災害看護グローバルリーダー養成プログラム（DNGL）
大学院生　稲垣真梨奈、山村奈津子

報告３：熊本地震における地域産業の課題
兵庫県立大学　政策科学研究所　教授　加藤惠正
（公財）神戸都市問題研究所　常務理事　本荘雄一

報告４：学生による災害ボランティア活動
兵庫県立大学　環境人間学部　学生　叶　諒太

（休憩）

(4)意見交換（45 分）
進行：兵庫県立大学防災教育研究センター　准教授　青田良介

(5)閉会挨拶（兵庫県立大学防災教育研究センター長　室崎益輝）

問い合わせ先：兵庫県立大学　防災教育研究センター　紅谷（べにや）
TEL 078-271-3290（代表）　電子メール b906s016@hq.u-hyogo.ac.jp